

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

6 頁 侍者合宿

8頁 夏のキャンプ情報

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL • FAX 0794 - 31-8601



7
2007

ペトロ岐部が殉教した江戸の伝馬町牢屋敷跡（東京都中央区十思公園）

ローマまで歩いた不屈の人
ペトロ岐部

大分県国東半島の記念公園にあるペトロ岐部神父の銅像は前を見据えて胸を張り、見るものを彼と同じ視線へと誇ります。ローマまで行つて司祭に叙階され帰國したら迫害の時代。最後は拷問をうけ殉教するという波乱万丈の生涯を生きた岐部神父の目には、彼を雄々しく宣教に向かわせた屈強たる精神がみなぎっています。信徒の時代と言つても、カトリック教会にはミサ聖祭と諸秘跡を執行し、教会に全く生涯を賭けて奉仕する司祭がどうしても必要です。今回の188名の殉教者の中に4人の司祭がいます。これらの司祭たちはいずれも波乱に富んだ生涯を送り、壯絶な殉教を遂げています。彼ら司祭の殉教は、日々宣教司牧に邁進苦労しながらも忍耐し、希望して生きようとする現代の司祭たちに、大きな励みと慰めになります。日本は久しく司祭召命が少ない状況ですが、この度の4人の殉教司祭の列福は、日本の教会の司祭召命のために私たちが果たすべき務めを思い起こさせてくれます。

188殉教者紹介 5

ローマまで歩いた不屈の人

—ペトロ岐部—

ペトロ岐部は「世界を歩いた神父」として知られている。確かにその生涯は旅であった。だが彼をその旅に駆り立てた力は、神と同胞に対する愛のほかにない。ペトロは司祭となって帰国し、迫害に苦しむ日本の教会のために自分を与え尽くすことを熱望した。

ペトロ岐部は、1587年、豊後の国東半島の岐部に生まれ、少年時代は有馬のセミナリヨで育てられた。その時イエズス会に入会する私的な誓願を立てたといふ。後に同宿になつたペトロ岐部は、1614年、宣教師とともにマカオに追放された。だがそこでは彼の意に反し、司祭への道も閉ざされたと思われた。神と同胞に尽くしたいとの耐え難い望みに駆られ、ペトロ岐部は、1618年ころ、マカオを出奔し、インドのゴアまで行った。そこから現在のパキスタン、イラン、イラク、ヨルダンなどを横断した。ことばも風俗も知らず、砂漠の生活にられない者の一人旅は、生死をか

けた決死行である。エルサレムに立ち寄つて聖地巡礼をした後、彼がローマにたどり着いたのは、1620年であったと思われる。ペトロは、ようやくの思いでローマのクリチナーレにあるイエズス会の修練院を訪ねたが、非情にも、彼を受け入れないようになっていたことを知る由もなかつた。しかしペトロに会つたイエズス会の上士たちは、彼の司祭叙階に便宜を計つた。1620年、司祭に叙階されすぐ、イエズス会への入会が許された。リスボンに移つて誓願を立てたペトロは、帰國の途についた。交易船を利用して日本に上陸しようと考えたが、江戸に護送されて取り調べを受け、これには将軍家光が直々に立ち会つたこともあつた。さまざまな拷問の末、取り調べ奉行井上筑後守の命により穴吊りにされた。

それでも信仰を捨てないペトロ岐部を見た役人は、真っ赤に焼けた鉄棒を彼の腹に押しつけ、絶命させた。ペトロ岐部の処刑について記した井上筑後直筆の所見が、今も残つてゐる。

中浦ジュリアンたちの殉教の時に記されている。1633年、岐部神父は長崎の山中に潜伏していた。フェレイラが背教したと聞いて、夜中、山から下りて町に入り、フェレイラに会つて次のように励ました。「神父様、一緒に奉行所へ参りましよう。あなたは背教を取り消し、私とともに死にましょう」。フェレイラは断つたが、

岐部の行動は、兄弟の救いを願う司祭の心情をよく表している。その後、岐部神父は活動を東北地方に移し、そこで数年間、活動したが、もはや潜伏は困難であることを悟り、宿主に害が及ばぬよう仙台で捕らえられることにした。江戸に護送されて取り調べを受け、これには将軍家光が直々に立ち会つたこともあつた。さまざまな拷問の末、取り調べ奉行井上筑後守の命により穴吊りにされた。

それでも信仰を捨てないペトロ岐部を見た役人は、真っ赤に焼けた鉄棒を彼の腹に押しつけ、絶命させた。ペトロ岐部の処刑について記した井上筑後直筆の所見が、今も残つてゐる。

「ペトロ岐部は転び申さず候」

キリストン関係行事

7月

○8日(日)

草刈巡礼

場所 ペトロ・カスイ岐部神父記念公園(国東市)

○22日(日)13時半 第20回顕彰祭

主催 大分教区

場所 カトリック古河教会北関東キリストン殉教者顕彰会

主催 第20回顕彰祭

場所 カトリック古河教会北関東キリストン殉教者顕彰会

○14日(火)19時

根獅子殉教祭

場所 根獅子の浜公園(平戸市)

主催 紐差教会

場所 南蛮寺跡ミサ

○26日(日)14時

根獅子殉教祭

場所 京都市革新旅館(予定)

主催 京都キリストン研究会

○26日(日)10時

鳥越の殉教者記念ミサ

場所 浅草教会

苦難を乗り越えた教会の歴史 — 西陣教会 —

西の陣教会の会い百年を過ぎ越ししこと記念せる

村上透磨神父

去る4月15日(日)西陣教会は

が集約されている。

その一文をここに掲載する。

創立百周年を祝ったのだが、戦時中5年間、一時閉鎖の危機があつたことをご存知であろうか。この記事は百周年の祝いに水を差すのではなく、百年を迎えることが出来るのは、司祭と信徒たちの隠れ努力があつたことを思い起こすことを通して、福音宣教共同体作りについて、一つの参考になるのではないかと思う。

西陣の教会は戦前から幾組かの大きな家族からなる教会であり、その中から多くの司祭・修道女たちが生まれている伝統ある教会であることは、百年の歴史を見れば分かる。こんな教会ですら、あの戦争中はまず司祭の不足から閉鎖せねばならない危機があった。

この5年間の様子については、古屋司教の金祝を祝って発行した記念誌からうかがい知ることができる。

その古屋司教の思い出(タイトルでは「芽生え」と、村上透一(筆者の方)の証言にこの当時の様子

が載っている。その一文をここに掲載する。

「昭和16年12月8日、午後8時頃、西陣教会の伝道師が手文庫をかかえて、私の元に息せき切って飛び込んで来た。マキロップ師はじめメリノール会員一同は、古屋司教(当時神父)と共に河原町教会に軟禁された:その後司教は解放されたが:京都教区は司牧者のいない迷える羊となつた苦難の時代が始まったのだ:そこで司教は、西陣の信者は河原町に来てくれないか、と言った:信者からは、教会をつぶす氣かと非難された:そこで3つの提案をした。

1、西陣教会維持費は信者一同で負担する。
1、ミサは毎日曜日一つとする。
1、管理運営は古屋司教の指示で私が行う(日曜日毎に河原町に手文庫を持参した)。

信者有志が無記名で献金したところ40円集まり、あとは鏑木、木内氏(柳本師と終師の祖父)で解決した。ミサは6時半河原町、

8時西陣、9時河原町であった:こうして教会は存続した」。司教の依頼で要理もしたことがあつた。戦後すぐ従軍司祭としてマキロップ師をまるで凱旋将軍のように迎えたのを憶えている。

ローマで勉強中、戦争のため帰国出来なかつた富沢司教も、引揚者として帰国し、西陣教会に赴任された。

西陣教会の現位置での最初の教会は、日本家屋だけであつた。入つて左側のガラス張りの部屋が聖堂、向こう側の廊下からミサのために神父様が現れた。子どもには何か秘密の入り口のように思えた。告解もそこでしていたようには、正面玄関の奥が香部屋兼集会場であり、入り口右の狭い部屋は暗くて子ども心には何となくこわい部屋であった。そこで公教要素を聞いたこともあった。右側の司祭館(部屋)には入れなかつた。この家で何でも行われた。ミサもクリスマスの劇も演じられた(そういう青年会の方々が劇も演じられ、柳本師のお父さんは名優であった)。当時のミサは向こう向

きでラテン語であった。神父様はローテン語で、信者は祈祷書でそれが私の将来を左右する歌となつた。子沢山な時代であり、ほとんどの子どもたちが友だちでいた。それがいまでも続いている、良い年をしたおじいちゃんおばあちゃんになつた今でも会えば「○○ちゃん」と呼ぶ方がピンと来る。

年月は流れ、教会のメンバーも変わる。でも伝統や信仰の遺産は積み重ねていく。戦中の5年間には、こわれそうになつた橋や家を必死に支えた人々がいた。信仰に生きることはまさに命をかけること(マルティル、殉教証)だった。それが信仰共同体の姿でもあつた。

しかし父がもらした言葉は私に深い印象を残した。「私たちは教会を守つた。でも司祭がいない教会は、つい守りになる」と。

百年の歩みの道にかけられしこの橋なくばここに立ち得ず

養成講座案内



福音センターニュース

「新しい福音宣教を目指して」（Ⅱ）

～共同体づくりのために～

今、わたしたちが取り組んでいる共同宣教司牧は、「福音宣教する共同体づくり」が主な目的です。

そのため福音センターでは、昨年度、「福音宣教」に焦点を当て、パウロVI世の『福音宣教』を取り上げました。

今年は、さらに一步進んで、「共同体づくり」に様々な側面から迫ります。教会共同体づくりになくてはならない、「聴く」、「分かち合う」、「識別する」ことを体験的に学ぶ一方、それらを根本から支える「愛する」ことを、現教皇の最初の回勅、『神は愛』のなかに探ります。

小教区、ブロックで共同体づくりの様々なこころみが進行している今、それらの体験を整理し、新しい気づきを得るために、小教区役員ばかりではなく、多くの信徒の方々の参加をお待ちしております。

講座内容

- ① 識別について 〈9月1日（土）〉 …来住 英俊師（御受難会）
- ② 傾聴について 〈9月15日（土）〉 …小原 義雄氏（高野教会信徒）
西原エツ子氏（大和郡山教会信徒）
- ③ 愛について 〈9月29日（土）〉 …パトリック・オヘール師（マリスト会）
- ④ みことばの分かち合いについて 〈10月13日（土）〉 …幸田 和生司教（東京教区）

時間帯とプログラム

午後1:30～4:00（講話・実践・分かち合い等）

場所

河原町会館6階ホール、最終回の「分かち合い」は河原町教会地下ホール

参加費

2,000円（4回通して） 「みことばの分かち合い」のみ参加の場合 800円

お問い合わせ ☎604-8006 京都府京都市中京区河原町通三条上ル

京都カトリック福音センター

Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

わたしの福音宣教

吉岡マサ子（西院教会）

デイサービスセンターの利用者になって7年の月日が経ちました。

通い始めたころは、ある一人のお年寄りが「生きていたら家族に迷惑をかけるから早く死にたい」と言われるたびに、「わたしはあなたにお会いするのを楽しみに毎週通つて来ています」と言い続けました。わたしが出来ることはそれくらいだと思っていましたが、そのうちに介護保険について勉強してみたいと思うようになり、色々資料を集めたり本を読んで学びました。その結果、少し視野が広がり、見えてきたことがあります。

それは、國の方針で介護保険制度が改悪され、高齢者の負担が重く、利用しにくくなつたことなどです。

●生活の改善を求めて

先日もテレビで、心根の優しい若い人が希望に胸を膨らませて介護の仕事を選ばれたにもかかわらず、給料が安く、将来家庭をもてないのではないかとの不安から職場を離れてゆく現実が放映され、考えさせられました。

また人件費の削減が図られ、サービス内容の低下が起りかねません。

そんな中で、どうすれば少しでも暖かく楽しい一日が過ごせるかを、わたしは所長とた

福音宣教は頭で考えると難しい…、でも、身近な生活の場を、みんなが少しでも楽しく生きられるよう小さな努力を積み重ねることなのではないでしょうか。そんな投稿をいただきました。これならだれにでもできそうです。

びたび話し合っています。幸いわたしの通所している事業所の所長は、可能なかぎり利用者の意見を聴き、反映させてゆく姿勢をおもちの方なので、ある意味では恵まれていると思っています。

●みんなの生きる喜びのために

福音宣教を頭で考えると難しくてわたしには出来ないと思いがちですが、そうではなくて、自分の生活の場で少しでも、正しいことが正しいこととして認められ、みんなが生きる喜びを感じて日々を過ごせるように、言葉や行いで表してゆくことではないでしょうか。

人の介護を受けて生きる身になってそのことがはっきり解りました。今、わたしは充実した日々を感謝の気持ちに満たされて送っています。

福音センターよりお知らせ

5月12日（土）に行われました「私たちにとって殉教とは」（溝部脩高松教区司教）は、参加者約300名、献金総額208,374円で盛況のうちに終了しました。献金はカトリック中央協議会列福献金口に送付いたしました。ご協力を心から感謝申しあげます。

侍者合宿（3月27日～29日）

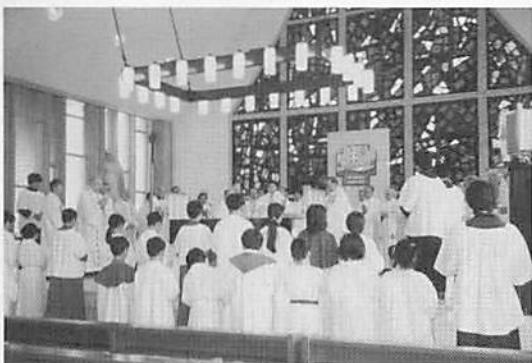
学校の友達に負けないくらいの楽しさだった

3月27日から29日まで洛星の宗研館を会場に、教区小学生侍者合宿が行われました。参加者は、小學生48人（男22名、女26名）、奉仕スタッフ20名でした。一緒に祈ることや生活すること、互いを大切にしあうことを通して、侍者奉仕の基本を学びました。そして、最終日には、聖香油ミサで侍者奉仕をしました。

侍者合宿をふり返って

河原町教会 小杉 明

今年も侍者合宿に行きました。みんなで侍者の練習をしたり、動物園に行ったり、とても楽しい3日間でした。動物園は、家からすぐに行ける所だったので、侍者合宿で行ったときは、またがう発見があったり、ちがう楽しさがありました。侍者の練習は、河原町教会でしたこともあわせると、全部で4回ありました。洛星でした練習で十字架が軽くておどろきました。それに比べて香炉や香舟が重かったです。それで河原町教



会であった聖香油ミサの本番。少し遅れましたが、司教様のぼうしやつえを持った人に比べれば、少もっともっと楽な仕事だったと思います。そして最後の記念さつえでは、持つて行ったカメラで一枚とつてもらいました。そして次は作文で、書き終わつたあの昼食が楽しみです！ そういえば、去年の昼食は、パンでした。今年で侍者合宿も最後ですが、これか

らも河原町教会で侍者を頑張ります！

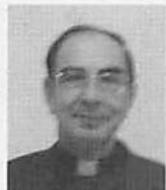
「この三日間の感想」

田辺教会 平井仁太

今年もまた侍者合宿に参加しました。合宿所につくと、知りあった人、初めて見た人、見おぼえある人が沢山いた。知っている人も一年ぶりに会つたのでうまく話せなくて、「また一緒に話し合えるのかな」と不安になった。しかし、勇気をもって、「ぼくのこと覚えている？」と聞くと、「覚えていいなつかしいなあ」と言つてくれた。声をかけてあげた子は、

みんな友達としての話し相手になつた。ぼくは、「これも神のおかげだ」と思った。友達は、男の子ばかりではなく、女の子とも仲よくなつた。「勇気を持って話しかけたらこんなにも友達ができるのだ！」とおどろいた。初日の夕食の日、「まだ友達になつたばかりだから、あまり話し合えないだろうなあ」と思つたが、ちがつた。学校のこと、最近はまつていることや、はやっていることなどいろいろな話題でもり上がつたのでとてもうれしくて、楽しかつた。なんで会つたばかりなのに、こんなにも笑い合えるのかふしき

ドミニオ神父



所属エスコラ
ピオス修道会
生年1936
叙階1960

教区神学校に行こうと考えましたが、通っていた学校の神父様に勧められてエスコラピオス神学校に入りました。今は神様の呼びかけに答えて感謝します。

神父になる前に日本で宣教する使命が与えられて大変不安に



村上透磨神父

所属三重北勢
ブロック
生年1938
叙階1966

叙階されたとき「幼きイエスのテレジアにおける神の父性」という論文を書き、69年高野に赴任、3年後、津南(現在なし)で1週間にガス中毒に遭い、五里夢中の生活がしばらく続きました。よく生還出来たと思います。

教区ビジョン、宣教司牧評、第1回ナイスにも関わり、貴重な体験をさせていただきました。

今三重北勢ブロック担当司祭として鈴鹿に在住して、みな親切ですが、ぼけっとした姿に驚きあきれていられるかも…。

広報、典礼、聖書委員会等の仕事をさせていただき、重いリュックを背負い、杖つきながら京都に通っています(3年前踝骨折の後遺症)。その外、がたがたの身体に苦しむと、みんなも同じ気持ちになつて笑うんだなあと、分かりました。カルメル会に行つたとき、シスター達が、心の底から、神様

ここにちは神父さん

1966年から去年まで教えていました。学校の外でも生徒達と楽しく活動をしました。同時に四日市教会で外国人の司牧をしていました。神様から与えられた使命に感謝し、頑張っております。

なりましたが、従順の誓願を守つてはげみ、神様から力を頂いて1961年に日本に来ました。今日本に来て良かったと思います。

着いてすぐ横浜で2年間日本語を勉強し、学校で教える準備をして、四日市の海星中・高校で1966年から去年まで教えていました。学校の外でも生徒達と楽しく活動をしました。同時に四日市教会で外国人の司牧をしていました。神様から与えられた使命に感謝し、頑張っております。

侍者合宿をして

福知山教会 足立 英

だった。「まるで学校の友達に負けないぐらいの楽しさだった」と思った。また来年も来て神様と向き合って、友達も作りたいなあと思つた侍者合宿だった。そして学んだことを大切に教会でも使っていきたいなあと思います。

私は、この侍者合宿で、神様の声が聞こえたような気がしました。それは、侍者練習を初めてしたときでした。友達にアドバイスをもらつた後に、歩く練習(テスト?)をしていると、「あなたががんばつてくれると、とってもうれしいよ。3日間がんばつてね」と、聞こえたようなきがしました。その声を聞くと、体の中から、「むくむく」と、勇気がわいてきました。そして、がんばろう! という気になりました。2日目では、動物園に行きました。いろいろな動物を見ていく中で、リーダーや、友達と、もっともっと仲良くなつていきました。いっしょに楽しむと、みんなも同じ気持ちになつて笑うんだなあと、分かりました。カルメル会に行つたとき、シスター達が、心の底から、神様

にほうししたいという気持ちが、すごく伝わってきました。わたしは、毎日、祈つたりするのは、大変だと思ったけれど、シスター達は、そんな気持ちじゃなくて、心から、神様につかえたいという気持ちがあるんだなあと思いました。最後の3日目は、神父様などがたくさんいる、とても大切なミサをしました。私にはもうそくを持つ(何も役はないです)ということをしました。役はなかつたけれど神父様の前に立つということも大切なので、きんちようしながらも大げさに、がんばりました。練習のときは、少しねらけが分からなくなつたりして、とても大変だったけれど、本番では、リーダーに、アドバイスをして貰いながら、一生けん命がんばりました。立っているときに、足がだるくなつたりもしだけれど、がんばろうと思って、しっかり立っていました。私は、この侍者合宿が初めてで、とてもドキドキしていたけれど、あっちから、「よろしくね!」とか、「同じ班やん」とか言ってくれて、きちんとちようがとけました。友達と別かれたりするのは、かなしいけれど、別々の教会で侍者をがんばつていいみたいです。

夏のキャンプ情報

青少年委員会

◆教区中学生広島巡礼▼8月5日
(日)~7日(火)問合せ マルコ・アントニオ・ナバロ師または福岡師

◆教区高校生会夏合宿▼8月9日
(木)~11日(土)場所 メリノールハウス 問合せ 龍野師

京都北部地区

◆子どもサマーキャンプ▼7月15日(日)~16日(月)場所 網野教会 指導 頭島光師

◆中高生キャンプ▼9月8日(土)~9日(日)場所 地球デザインスクール(宮津市・里波見)
西舞鶴ブロック

◆西舞鶴教会▼野外活動8月上旬、詳細未定

京都南部地区

◆北ブロック

◆北ブロック夏期学校▼7月21日(土)~22日(日)場所 山国教会、宇津教会、府立ゼミナールハウス テーマ 「よろこんで生きること」
殉教者に学ぶ

西ブロック

◆ブロック合同サマーキャンプ▼7月15日(日)~16日(月)場所 桂教会

◆河原町教会鍊成会▼8月9日(木)~11日(土)場所 日吉山の家 小2~小6

◆北白川教会・山科教会合同合宿▼7月28日(土)~29日(日)場所 北白川教会 ハイキングなど

◆ブロック合同キャンプ▼8月9日(木)~11日(土)場所 YMCAリトリートセンター(宇治・笠取) テーマ 「神様との約束」

◆ブロック合同教会学校キャンプ▼8月3日(金)~4日(土)場所 YMCAリトリートセンター(宇治・笠取)

良書紹介

『キリストン地図を歩く』

—殉教者の横顔—

日本188殉教者列福調査歴史委員会編

今年11月、長崎で行われるベトロ岐部と187殉教者列福式を迎えるに当たり、この殉教者たちがどのような方々であったかと、私たちは知りたいと思う。しかし、この方々の様子を知る1冊のまとった本といえども、唯一この書だけのように思われる。

キリストンたちの殉教を語る時に、「彼らがどのように死んだか」ではなく、「どのように生きたか」を知ることが今年の私たちのテーマではないだろうか。その意味で

『キリストンの心』チースリク著聖母文庫をおすすめする。おもての帯書きに「400年前のキリストンの実像」、「福祉活動に進んで参加し、聖母信心に勤しみ、宣教活動に熱心に取り組んだ」とある。

一六一九年十月六日がある。ちなみに今年の司教書は『京都の大殉教』を想う新しい福音宣教と題されている。

なにこの188人の殉教者の中の京都の52名については、結城了悟師の『京都の大殉教

週間』という司教協議会編の小冊子は良書というより、默想への招きとして大切にしたい。ま



滋賀地区

お知らせ

- ◆西湖ブロック
◆ブロック合同サマーキャンプ▼
7月29日(日)～30日(月) 場所
唐崎教会・大津市立葛川少年自然
の家 テーマ「この世界、みんな
が主人公」 幼児・小中学生
6年生
- ◆湖東ブロック
◆ブロック侍者キャンプ▼ 7月26
日(木)～28日(土) 場所 唐崎
メリノールハウス 小学3年生～
文師、25・26日 中川博道師
- ◆北勢ブロック
◆ブロック鍊成会▼ 7月29日(日)
～31日(火) 場所 三重県立鈴
鹿青少年センター テーマ「あか
し」 小学3年生～中学3年生
- ◆中勢ブロック
◆ブロック教会学校サマーキャン
プ▼ 7月21日(土)～22日(日)
場所 四日市サレジオ志願院
テーマ「イエス様といっしょに歩
こう」 小学生
- ◆南勢ブロック
◆ブロック教会学校キャンプ▼ 7
月28日(土)～29日(日) 場所
多気町丹生ふれあいの森
- ◆滋賀地区
◆滋賀カトリック協議会▼ 典礼研
修会「典礼奉仕への招きパート2」
7日(土) 10時 唐崎メリノール
ハウス 石井祥裕氏(『聖書と典
礼』編集長) 会費700円 申込
み 所属教会の典礼部を通して瀧
野師へ
- ◆滋賀カトリック協議会から
◆京都南部北ブロック▼ 平和祈
願合同ミサと学習の会 8月5日
(日) 衣笠教会
◆京都南部東ブロック▼ 平和祈
願ミサ／平和行進 8月12日(日)
◆在世フランシスコ会京都兄弟会
- ◆京都地区
◆京都カナの会▼ 例会・結婚相談
室1日(日) 13時半 河原町会館
6階
- ◆京都地区
◆京都キリストン研究会▼ 例会22
日(日) 河原町会館 6階
- ◆京都地区
◆コーキ・チエレスティ練習日第
21日と28日 「救い主への準備」
毎週土曜日朝8時45分より
井上博士によるシリーズ『聖
書に学ぶ』 7日と14日 「原罪」
スカイAスポーツプラス
▼ラジオ KBS京都ラジオ
*7月のテーマ「小さなこと」。
月(土) 朝5時15分より5分間。
問合せ075(211)9341
累計50,002,852円
(5月15日現在)
- ◆聖書委員会▼ 聖書深読14
日(土) 10時 P・オヘール師 河
原町会館 7階 費用2500円
(昼食代を含む)、持参品 聖書・
筆記用具・ノート(お申し込みは
3日前まで)▼ 聖書講座シリ
ーズ「エルサレムからローマへ(福
音宣教の旅)」使徒言行録を読む
14・5日 沼野尚美、11・12日
大塚喜直司教、18・19日 烏果義
文師、25・26日 中川博道師
- ◆JOC(働く若者の集まり)フ
リーターや働く予定のある青年も
歓迎します)▼ 集会場所 京都効
く人の家(九条教会前) 連絡先
090(8207)1831
- ◆カトリック聴覚障害者の会京都
グループ▼ 手話学習会 12日(木)
13時 河原町会館 6階
- ◆京都カトリック混声合唱団▼ 練
習日 8日、29日(日) 14時、21日(土)
19時、ミサ奉仕 18時15分、河原町
会館 6階
- ◆京都カナの会▼ 例会・結婚相談
室1日(日) 13時半 河原町会館
6階
- ◆京都カナの会▼ 例会22
日(日) 河原町会館 6階
- ◆京都カナの会▼ 例会22
日(日) 河原町会館 6階
- ◆二金会▼ 7・8月はお休みです
◆糠みその会▼ 26日(木) 19時半
九条教会ホール
- ◆ディンプナの会▼ 7日(土) 19
時 河原町会館 6階 奥村豊師
- ◆部落問題活動センター▼ シンボ
ジウム「国家と差別(天皇制)」
7日(土) 14時 玉造教会小聖堂
参加費500円
- ◆心のともしび 7月番組案内
▼テレビ(衛星・ケーブル放送)
スカイAスポーツプラス
毎週土曜日朝8時45分より
井上博士によるシリーズ『聖
書に学ぶ』 7日と14日 「原罪」
21日と28日 「救い主への準備」
*7月のテーマ「小さなこと」。
月(土) 朝5時15分より5分間。
問合せ075(211)9341
累計50,002,852円
(5月15日現在)
- ◆聖ドミニコ女子修道会▼ 「ロザ
リオと共に祈る会」 20日(金)
10時半 どなたでもどうぞ▼ 場
所 京都修道院▼ 問合せ075
(231)2017
- ◆聖ヴィンセンティオ・ア・パウロ
会▼ 河原町協議会 8日(日) 河
原町教会▼ 全国大会 15日(日) 河
原町会館 7階 費用2500円
16日(月) 名古屋南山教会・南山
学園研修センター、問合せ075
(231)4785 河原町協議会
◆デインプナの会▼ 7日(土) 19
時 河原町会館 6階 奥村豊師
- ◆選挙集会 14日(土) 13時半 フ
ランシスコの家
◆聖ヴィンセンティオ・ア・パウロ
会▼ 河原町協議会 8日(日) 河
原町教会▼ 全国大会 15日(日) 河
原町会館 7階 費用2500円
16日(月) 名古屋南山教会・南山
学園研修センター、問合せ075
(231)4785 河原町協議会
◆二金会▼ 7・8月はお休みです
◆糠みその会▼ 26日(木) 19時半
九条教会ホール
- ◆二金会▼ 7・8月はお休みです
◆糠みその会▼ 26日(木) 19時半
九条教会ホール
- ◆二金会▼ 7・8月はお休みです
◆糠みその会▼ 26日(木) 19時半
九条教会ホール
- ◆二金会▼ 7・8月はお休みです
◆糠みその会▼ 26日(木) 19時半
九条教会ホール

修道会から

◆在世フランシスコ会京都兄弟会

大塚司教の

7月のスケジュール

- 1日 (日) 京都北部舞鶴ブロック
司教訪問（西舞鶴）
- 4日 (水) 中央協議会会議
- 5日 (木) 中央協常任司教委員会
- 6日 (金) 東京カトリック神学院
常任司教委員会
- 7日 (土) 福音センター結婚講座
- 8日 (日) 京都コリアンセンター
ミサ 10時
- 11日 (水) 教区聖書講座(河原町)
- 12日 (木) 教区聖書講座(河原町)
進チーム会議 10時半
- 13時半
- 14日 (土) 第16回共同宣教司牧推進チーム会議 10時半
- 15日 (日) 故小野十益神父一年祭
ミサ (河原町)
- 17日 (火) 大阪教会管区・教区代表者会議(大阪司教館)
- 19日 (木) 司教顧問会・責任役員会 10時
- 21日 (土) 小教区評議会規約調整
委員会 14時
- 21日 (土) 済州姉妹教区交流部 14時
- 29日 (日) ブラジル人共同体 (ボルトガル語) ミサ (津)
- 12時

29日 (日) ~ 8月4日 (土) バチカン諸宗教対話評議会
議長プバール枢機卿來訪

中学生会リーダー募集

この度、新リーダー募集の記事を書くにあたり、僕個人の体験をもとに書こうと思いつきました。というのも、僕自身が事務的な内容の記事を書くのが苦手で、同時にちょっと型破りな記事(人生)に魅力を感じるからです。

さて、テーマは「リーダー募集」。毎年「春・夏・冬」の長期休暇を利用して開かれる中学生の合宿、その企画・進行をしているのがリーダーと呼ばれる青年男女です。僕は大学進学をきっかけに静岡から京都にきて、2003年の冬から2007年の春まで参加しました。

印象的だったのは、「中学生の世話をするのではなく、共に学ぶ姿勢」でした。ボランティア感覚で参加した「そこ」は、かけがえのない友達との出会いの場であり、あたたかく、時には厳しく指導してくれる大人(先輩)のいる鍛錬の場であり、無邪気で素直な中学生のいる癒しの場でありました。単に宿の運営を楽しむだけでなく、リーダーという役割を通して、苦しみ、喜び、それを分かち合うことの大切さを学びました。これから、リーダーをやつてみようかなと思っている人がいて

たら、是非やってみることをおすすめします。

これから、特にすることが決まってない人がいたら、試してみてみるといいと思います。

これから、別のことをしてしまう

と思っている人がいたら、無理

にとは言いません。

◆英語ミサの変更(6月から)
▼河原町教会毎日曜日12時からを開始▼西院教会毎日曜日15時からをとりやめ

◆お詫びと訂正

▼教区時報6月号(355号)3頁、「助祭叙階の恵みを受け」の記事のタイトルにおいて、助祭「鶴山信栄」とあるのは「鶴山進栄」の間違いでした。
お詫びして訂正いたします。

◆編集部から

6月1日に、教皇ベネディクト16世は、ペトロ岐部と187殉教者の列福を承認する教令に署名し、これを裁可しました。

本紙の今年3月から来年8月まで毎月188殉教者などを紹介しています。全部通して読み続けていただけだと思います。

興味のある人は、青年センターまで、気軽に、本当に気軽に連絡ください。

電話 075(414)6239
FAX 075(414)6249
E-mail seinen@kyoto.catholic.jp